

現場説明書

- 1 業務名 (仮称) 南こども園建設予定地地質調査業務委託
2 監督員 都市部 公共建築課 (建築)

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この業務の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、業務委託契約書又は業務委託請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は施行場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 前払金について

前払金 する しない
前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

3. 部分払について

部分払 する(回以内) しない

4. ~~継続事業に係る業務の各会計年度別支払限度額について~~

- ~~(1) 継続事業に係る業務の各会計年度における委託代金額の支払限度額及び前払金の割合は、次のとおりである。~~

会計年度	支払限度額 (委託代金額に対する割合)	前払金
初年度(<input type="text"/> 年度)	 <input type="text"/> %	支払限度額・委託代金額の <input type="text"/> %
第2年度(<input type="text"/> 年度)	 <input type="text"/> %	支払限度額・委託代金額の <input type="text"/> %
第3年度(<input type="text"/> 年度)	 <input type="text"/> %	支払限度額・委託代金額の <input type="text"/> %

- ~~(2) 各会計年度における委託代金額の支払限度額は、受託者決定後業務委託契約書を作成するまでに受託者に通知する。~~

5. 契約に関する事項について

- (1) 設計図書関係
- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、受託者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

ア 委託代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)
 提出不要

イ 工程表 要提出(契約締結後7日以内)
 提出不要

ウ 着手届 着手後5日以内に提出すること。

エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。

オ 下請負者届 下請負を発注の都度、提出すること。

カ 直営工事届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

ア 支給材料	あり	なし
イ 貸与品	あり	なし

(5) 条件変更等の関係

業務の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により業務内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により業務内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、履行期間の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分	あり	なし
-----------	---------------	----

6. テクリスの登録について

受託者は、受注時又は変更時及び完了時において委託代金額が100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報サービス(TECRIS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

ただし、建築関係業務においては、対象外となる場合があるので監督員と協議すること。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受託者に届いた際には、直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) 完了時登録データの提出期限は、業務完了後10日以内とする。
- (3) 施行中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時と完了までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

7. 下請負者について

下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

8. 一括下請けの禁止について

受託者は、本業務の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

9. 技術的事項について (別紙)

業務委託仕様書

業務名	(仮称) 南こども園建設予定地地質調査業務委託
施行場所	横須賀市久里浜6丁目642番6
履行期間	令和4年2月25日
委託概要	本業務は、(仮称) 南こども園建設予定地地質調査業務を委託するものである。
委託仕様	別紙「地質調査仕様書」による。
注意事項	・周辺道路及び指定場所以外は、駐車を含め使用を禁止する。

地質調査仕様書

I 調査概要

1. 調査場所 横須賀市久里浜 6 丁目 642 番 6 (久里浜公園内)
2. 調査種目
 - ・敷地測量 ~~一式~~
 - ・建築物その他調査 ~~一式~~
 - ◎地盤調査 一式
 - ・土砂検定 ~~一式~~

II 調査仕様

1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書（令和3年版）」（以下「敷地共仕」という。）による。
2. 特記仕様
 - (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
 - (2) 特記事項は◎印のついたものを適用する。
◎印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
◎印と⊗印がついた場合は、共に適用する
 - (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、敷地共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
1 一 般 共 通 事 項	①業務実績情報の登録	◎適用する。 (1.1.4)
	②現場作業条件	◎作業日等について監督員と協議する。 () (1.3.4)
	③成果品その他	報告書提出部数 ※3部（黒表紙金文字製本） <一式電子データ(写真 pdf)> (1.5.1) 記録写真(サービス版、カラープリント可)撮影箇所数 (1.5.1) ◎敷地周囲（4方向） ◎基準点（2枚） ◎地盤調査（全景、標準貫入試験、残尺、検尺、各1枚/箇所） ◎室内試験 (土粒子の密度試験、土の粒度試験、土の繰返し非排水三軸試験)
4 地 盤 調 査	①一般事項	技術者 ※地質調査技士 (4.1.2) ・監督員の承諾する者 ・< > 基準点 (4.1.3) ※監督員の承諾を受けた移動のおそれのない固定物 ・水準測量のベンチマーク ・水準点 ・< > 基準点は、位置及び高さが確認できる写真を報告書に添付する。

章	項目	特記事項
地盤調査	②ボーリング	地盤情報データベースの登録 (4.1.5) ◎地盤調査で得られた調査結果は、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受け、登録を行ったうえで提出すること。
		掘削方法及び記号 (4.2.2) ※ロータリーボーリング (RB) ・オーガーボーリング (OB) ・試掘 (TB) ・コアボーリング (CB)
		掘削孔の埋戻し (4.2.2) ※セメントミルク等で埋め戻す ◎<No.3 及び No.4 部分は、プールサイド用床材にて復旧 床材仕様：防カビ、耐候、防滑、重歩行>
		掘削位置 (4.2.3) ※図示 ・ 監督員の指示による
③サンプリング及び土質試験	掘削本数、深さ及び孔径及び形状は別紙 1 による (4.2.2) (4.2.3)	
	サンプリングの種別、採取数量、土質試験の種別は別紙 1 による。 また、位置及び深さについては、別途監督員と協議すること。 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.5)	
	乱れの少ない試料の採集（試掘の場合を除く） (4.3.5) 粘土、シルト等の場合のサンプラー ・固定ピストン式シンウォールサンプラー （・エクステンションロッド式 ・水圧式） ・ロータリー式二重管サンプラー ◎ロータリー式三重管サンプラー	
	砂、砂質土等の場合のサンプラー ◎ロータリー式三重管サンプラー ・< >	
④サウンディング	乱れた試料の採取 ※標準貫入試験により得られる試料 ・オープンドライブサンプラー	
	土質試験を行う試験所 ・監督員の承諾を受けた試験所 ・< >	
	種別 (4.4.2) ※標準貫入試験 ・スウェーデン式サウンディング試験 ・機械式コーン貫入試験	

章	項目	特記事項												
地盤調査	5 地下水調査	試験位置 ※ボーリング位置に同じ ・ < > (4.4.3)												
		試験深さ ※ボーリング長さと同じ ・ < > (4.4.3)												
		標準貫入試験の測定間隔 ※地盤面から 1 m の深さから 1 m ・ < > (4.4.4)												
		(現場透水試験) 位置及び深さは、下記による。 (4.5.3)												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削位置番号</th> <th>試験深さ (m)</th> <th>試験想定土質</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削位置番号	試験深さ (m)	試験想定土質	備考								
	掘削位置番号	試験深さ (m)	試験想定土質	備考										
		試験の種類 ・ 非定常法 (※回復法 ・ 注水法) (4.5.5) ・ 定常法												
	6 物理探査 ・ 検層	(弾性波速度検層 (P S 検層)) 位置及び深さは、下表による。 (4.6.3)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削位置番号</th> <th>試験深さ (m)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		掘削位置番号	試験深さ (m)	備考										
掘削位置番号		試験深さ (m)	備考											
	検層方法の種類別 ・ ダウンホール方式 (4.6.4) ・ 孔内起振受振方式													
7 載荷試験	(常時微動測定) 削孔径 ※ 8 6 mm 以上 ・ < > (4.6.5)													
	(平板載荷試験) 試験位置は ※ 図示 ・ 別紙 1 による ・ < > (4.7.3)													
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													
反力装置 ※ 監督員の承諾を受けた方法 (4.7.3) ・ < >														
	載荷方法 ※ 段階式載荷 (4.7.3) ・ 段階式繰返し載荷													

章	項目	特記事項												
地盤調査		<p>(孔内載荷試験)</p> <p>位置及び深さは、別途監督員と協議すること (4.7.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削位置番号</th> <th>試験深さ (m)</th> <th>試験想定土質</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>孔内水平載荷試験機の種別 (4.7.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレッシャーメータ試験 (等分布荷重方式 1室型) ・プレッシャーメータ試験 (等分布荷重方式 3室型) ・ポアホールジャッキ試験 (等分布変位方式) <p>(杭の載荷試験)</p> <p>試験の種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 <p>試験杭の種類、寸法、施工方法及び位置</p> <p>※ 図示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ < > <p>試験杭設置後の放置期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ < >日間 <p>試験杭の周面摩擦の処置方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ < > <p>試験杭の杭応力の計測方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ < > <p>計画最大荷重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ < > kN 	掘削位置番号	試験深さ (m)	試験想定土質	備考								
	掘削位置番号	試験深さ (m)	試験想定土質	備考										
⑧物理試験	<p>試験の種別 (4.8.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎土粒子密度 ・含水比 ◎粒度 ・液性限界・塑性限界 ・細粒分含有率 ・湿潤密度 													
⑨変形・強度試験	<p>試験の種別 (4.9.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一軸圧縮 ・一面せん断 ・三軸圧縮 ◎繰返し三軸 (液状化強度特性) ・ねじりせん断 													
10 圧密試験	<p>試験の種別 (4.10.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段階載荷圧密 ・定ひずみ速度 ・載荷圧密 													

章	項目	特記事項	項
地盤調査	11 安定化試験	試料の採取位置 ・ 図示 ・ < >	(4.11.2)
		試料の採取深さ ※4.11.2 による ・ < >	(4.11.2)
		試験の種別 ・ 締め固めた土の C B R 試験 ・ 乱さない土の C B R 試験	
	⑭総合考察	※4.14.2 による ・ < >	(4.14.2)
	⑮報告書その他	※4.15.2 による 柱状図の作成は「ボーリング柱状図作成及び ボーリングコア取扱い・保管要領(案)」(平成 27 年 6 月)による。	(4.15.2)

1 ボーリング (設計)

掘削位置番号	想定土質	想定掘削深さ	掘削孔径	本数	備考
No.1	粘性土・シルト	10m	φ116	1本	
	砂・砂質土	25m	〃		
	礫混じり土砂	15m	〃		
	軟岩	5m	φ86		
No.2	粘性土・シルト	10m	φ66	1本	
	砂・砂質土	25m	〃		
	礫混じり土砂	15m	〃		
	軟岩	5m	〃		
No.3	粘性土・シルト	10m	φ66	1本	
	砂・砂質土	25m	〃		
	礫混じり土砂	15m	〃		
	軟岩	5m	〃		
No.4	粘性土・シルト	10m	φ66	1本	
	砂・砂質土	25m	〃		
	礫混じり土砂	15m	〃		
	軟岩	5m	〃		
No.5	粘性土・シルト	10m	φ66	1本	
	砂・砂質土	25m	〃		
	礫混じり土砂	15m	〃		
	軟岩	5m	〃		

注)ボーリング*想定掘削深さ等が変更になる場合は、監督員に報告し協議すること。

2 サンプリング及び土質試験

トリプルサンプリング	土粒子の密度試験	土の粒度試験	繰返し非排水三軸試験
3本	3試料	3試料	3試料

※試験(調査)方法は、日本産業規格(JIS)等に基づき行うことを原則とする。
各試験の位置及び深さは監督員と協議し決定する。

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
細目内訳						
1. 調査業務						
1) 直接調査費						
土質ボーリング	φ 66 粘性土・シルト (50m超80m以下)		m			
土質ボーリング	φ 66 砂・砂質土 (50m超80m以下)		m			
土質ボーリング	φ 66 礫混じり土砂 (50m超80m以下)		m			
土質ボーリング	φ 116 粘性土・シルト (50m超80m以下)		m			
土質ボーリング	φ 116 砂・砂質土 (50m超80m以下)		m			
土質ボーリング	φ 116 礫混じり土砂 (50m超80m以下)		m			
岩盤ボーリング	φ 66 軟岩 (50m超80m以下)		m			
岩盤ボーリング	φ 86 軟岩 (50m超80m以下)		m			
標準貫入試験	粘性土・シルト		回			
標準貫入試験	砂・砂質土		回			
標準貫入試験	礫混じり土砂		回			
標準貫入試験	軟岩		回			
トリプルサンプリング	砂質土		本			
土粒子の密度試験	3個/試料		試料			
土の粒度試験	沈降分析 (ふるい分析含)		試料			
土の繰返し非排水三軸試験	液状化特性		試料			
解析等調査業務	資料整理・断面図等作成 (直接調査費分)	1-	式			
直接経費	電子成果品作成費 データベース登録費等	1-	式			
小計						
2) 間接調査費						
運搬費	水運搬含む	1-	式			
準備費	準備及び跡片付け、調査孔 閉塞、給水費(ポンプ運転)	1-	式			
プール付床シート復旧	防水 耐候 防滑 重歩行 屋外プール用	2	か所			
仮設費	平坦地足場仮設	1-	式			
施工管理費		1-	式			
小計						

数量内訳書 見積単価等情報

都市部 公共建築課

- ※ この数量内訳書の数量は参考です、入札者は独自に積算し入札すること。
掲載された単価は本市が設計価格算出のために採用したもので、入札者の下請負金額等を保証するものではありません。
また、金額に関する質疑等は原則、受け付けません。

単価等の採用根拠について

数量内訳書に掲載された単価等の採用根拠は以下によるものとし、各項目ごとの備考欄に該当する適用番号を記載しています。

建築工事標準市場単価表 [建築・電気設備・機械設備] 建築改修工事標準市場単価表 [建築・電気設備・機械設備] ※上記単価表の単価は下記の歩掛等により作成 公共建築工事標準単価積算基準 公共建築工事積算基準等資料 公共建築工事積算研究会参考歩掛り 営繕積算システム等開発利用協議会参考資料 営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り	① 非公開とします
建設物価、積算資料の2誌平均値による複合単価 建築施工単価・建築コスト情報との2誌平均値	② 非公開とします
カタログ価格による複合単価 見積り及び見積りによる複合単価	③ 設計書に掲載

(注) 1 ①の単価については、公表されている歩掛と刊行物に掲載の単価との複合単価であり、(一財)経済調査会及び(一財)建設物価調査会に著作権があるため、非公開とします。

建築工事標準市場単価表 [建築・電気設備・機械設備]

建築改修工事標準市場単価表 [建築・電気設備・機械設備]

なお、①の単価を作成する際に使用している刊行物の採用月は、単価表の適用月前月です。

2 一般に公表されている、または都市部公共建築課が独自に調査した材料価格以外の下記の刊行物による単価は、(一財)経済調査会や(一財)建設物価調査会に著作権があり、非公開とします。

建設物価、積算資料、建築施工単価、建築コスト情報

3 ②による単価の採用月は原則、設計時の最新月です。

4 単価の採用根拠についての内容に関する質疑等は原則、受け付けません。

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
細目内訳						
1. 調査業務						
1) 直接調査費						
土質ボーリング	φ 66 粘性土・シルト (50m超80m以下)	40.0	m			①
土質ボーリング	φ 66 砂・砂質土 (50m超80m以下)	100	m			①
土質ボーリング	φ 66 礫混じり土砂 (50m超80m以下)	60.0	m			①
土質ボーリング	φ 116 粘性土・シルト (50m超80m以下)	10.0	m			①
土質ボーリング	φ 116 砂・砂質土 (50m超80m以下)	25.0	m			①
土質ボーリング	φ 116 礫混じり土砂 (50m超80m以下)	15.0	m			①
岩盤ボーリング	φ 66 軟岩 (50m超80m以下)	20.0	m			①
岩盤ボーリング	φ 86 軟岩 (50m超80m以下)	5.0	m			①
標準貫入試験	粘性土・シルト	45	回			①
標準貫入試験	砂・砂質土	125	回			①
標準貫入試験	礫混じり土砂	75	回			①
標準貫入試験	軟岩	30	回			①
トリプルサンプリング	砂質土	3	本			①
土粒子の密度試験	3個/試料	3	試料			②
土の粒度試験	沈降分析 (ふるい分析含)	3	試料			②
土の繰返し非排水三軸試験	液状化特性	3	試料			②
解析等調査業務	資料整理・断面図等作成 (直接調査費分)	1-	式			①
直接経費	電子成果品作成費 データベース登録費等	1-	式			①
小計						
2) 間接調査費						
運搬費	水運搬含む	1-	式			①
準備費	準備及び跡片付け、調査孔 閉塞、給水費(ポンプ運転)	1-	式			①
プール付床シート復旧	防犯 耐候 防滑 重歩行 屋外プール用	2	か所	44,100		③
仮設費	平坦地足場仮設	1-	式			①
施工管理費		1-	式			
小計						

